

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまのお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

さんしびょうへん 三枝病変に対するセカンドグラフトの検討

かいせんし ～回旋枝に動脈グラフトは必要か～

けんきゅう たいしょう 1. 研究の対象

2002年1月～2021年12月までの当院実施症例のうち、下記の選択基準を満たし、除外基準に抵触しない症例

<選択基準> 単独冠動脈バイパス術例

<除外基準>

・再手術例	・MIDCAB（低侵襲冠動脈バイパス手術）例
・緊急手術例	・準緊急手術例
・補助デバイス使用例	・透析患者症例
・一枝及び二枝病変症例	・in situ ITA-LAD 不成立症例

けんきゅうもくてき ほうほう 2. 研究目的・方法

冠動脈バイパス術（CABG）は、冠動脈の血行再建術を行う外科的治療法であり、内胸動脈や橋骨動脈といった動脈グラフトと大伏在静脈を使用する静脈グラフトを使用します。

最重要部である左前下行枝に開存率の良い内胸動脈を使用することは世界的に主流となっていますが、回旋枝などへのセカンドグラフトの選択については動・静脈グラフトいずれが推奨されるかの結論は出ていません。

そこで、当院の実績を振り返り、冠動脈バイパス術の回旋枝への動・静脈グラフト別の成績を調査することにしました。

研究の方法は、当院で経験した症例について、治療で発生した情報を収集する観察研究という方法で行います。本調査により得られた知見は、今後のCABG治療選択の参考になると考えています。

研究の期間は2022年4月18日～2022年4月30日を予定しています。

しりょう じょうほう りようきよひ 3. 試料・情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「7. お問い合わせ先」までお申出ください。

その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる^{しりょう}試料・^{じょうほう}情報^{しゅるい}の種類

本研究では以下の情報を^{しゅうしゅう}収集する予定です。

- ^{けんきゅうたいしょうしやはいけい}研究対象者背景
- ^{じゅつご}術後^{いない}30日以内^{しほ}死亡
- ^{じゅつございんしほ}術後在院^{しほ}死亡
- ^{えんかくきそしほ}遠隔期^{しんぞうかんれんし}総死亡、^{しゅようのうしんけつかん}心臓関連^{しほ}死、^{しゅようのうしんけつかん}主要脳心血管^{いふん}イベント（MACCE）、^{しほ}再血行^{さいけん}再建 など

5. 外部^{がいふ}への^{しりょう}試料・^{じょうほう}情報^{ていきょう}の提供

本研究は当院のみで実施するため、外部への情報提供がありません。
尚、本研究では試料は扱いません。

6. 研究^{けんきゅう}の実^{じっ}施^{しだい}体制

< ^{けんきゅうせきにんしゅ}研究責任者 > 岸和田徳洲会病院 心臓血管外科 部長 ^{ふるや}降矢 ^{おんいち}温一

7. お問^とい合^あわせ先^{さき}

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、^{けんきゅう}研究
計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、^{しりょう}試料・^{じょうほう}情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの^{だいにん}代理人の方に
ご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場
合でも患者さまに^{ふりえき}不利益が生じることはありません。

< ^{しょうかいさき}照会先および研究への^{りよう}利用^{きよひ}を拒否する^{きよひ}場合の連絡先 >

〒596-0042 大阪府岸和田市加守町4丁目27-1
072-445-9915（代表）

岸和田徳洲会病院 心臓血管外科 副部長 降矢 温一

または

岸和田徳洲会病院 ^{りんしょうしけん}臨床試験センター（臨床研究担当者 宛）

（2022年4月13日作成）